

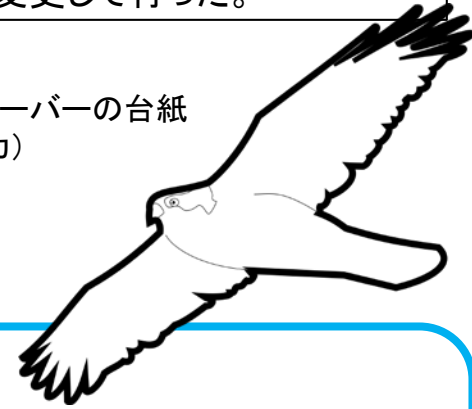
令和2年度 バードセーバーづくりイベントの開催

タンチョウも住めるまちづくりの一環として、野鳥との共生を考える環境教育イベントを開催した。本イベントは平成29年より開始し、今回で4回目となる。コロナ感染拡大防止のため、会場を鳥の駅マオイトーから舞鶴会館に変更して行った。

【開催概要】

日時 令和2年11月8日(日) 9:00~11:30
場所 野鳥観察:舞鶴遊水地、バードセーバーづくり:舞鶴会館
主催 長沼町・タンチョウも住めるまちづくり検討協議会 地域づくり専門部会
協力 長沼おっ鳥クラブ(5名)
参加者 子ども16名、大人10名

バードセーバーの台紙
(オオタカ)



①舞鶴遊水地に飛来した野鳥の観察

双眼鏡を貸し出し、野鳥観察を行った。
観察にあたって、長沼おっ鳥クラブが遊水地に
飛来する渡り鳥について解説した。



長沼おっ鳥クラブによる野鳥解説



野鳥観察
オオハクチョウ、ヒシクイなど

②バードセーバーづくり

ガラスに小鳥が衝突してしまうバードストライクの問題とその
対策を説明。

子どもたちは、長沼町で見られる猛禽類(オオタカ、チュウヒ、
ノスリ、チゴハヤブサ)を模した台紙に色を塗り、ハサミで切り
抜いてバードセーバーを作った。



バードセーバーづくりの様子



記念撮影